



ぎかいだより



もくじ

- 3月定例会当初予算 P 2
- 定例会議案 P 4
- 予算特別委員会質疑 P 6
- 定例会人事案件 P 8
- 第1回議員全員協議会 P 9
- 一般質問（5名） P10

春ですよ

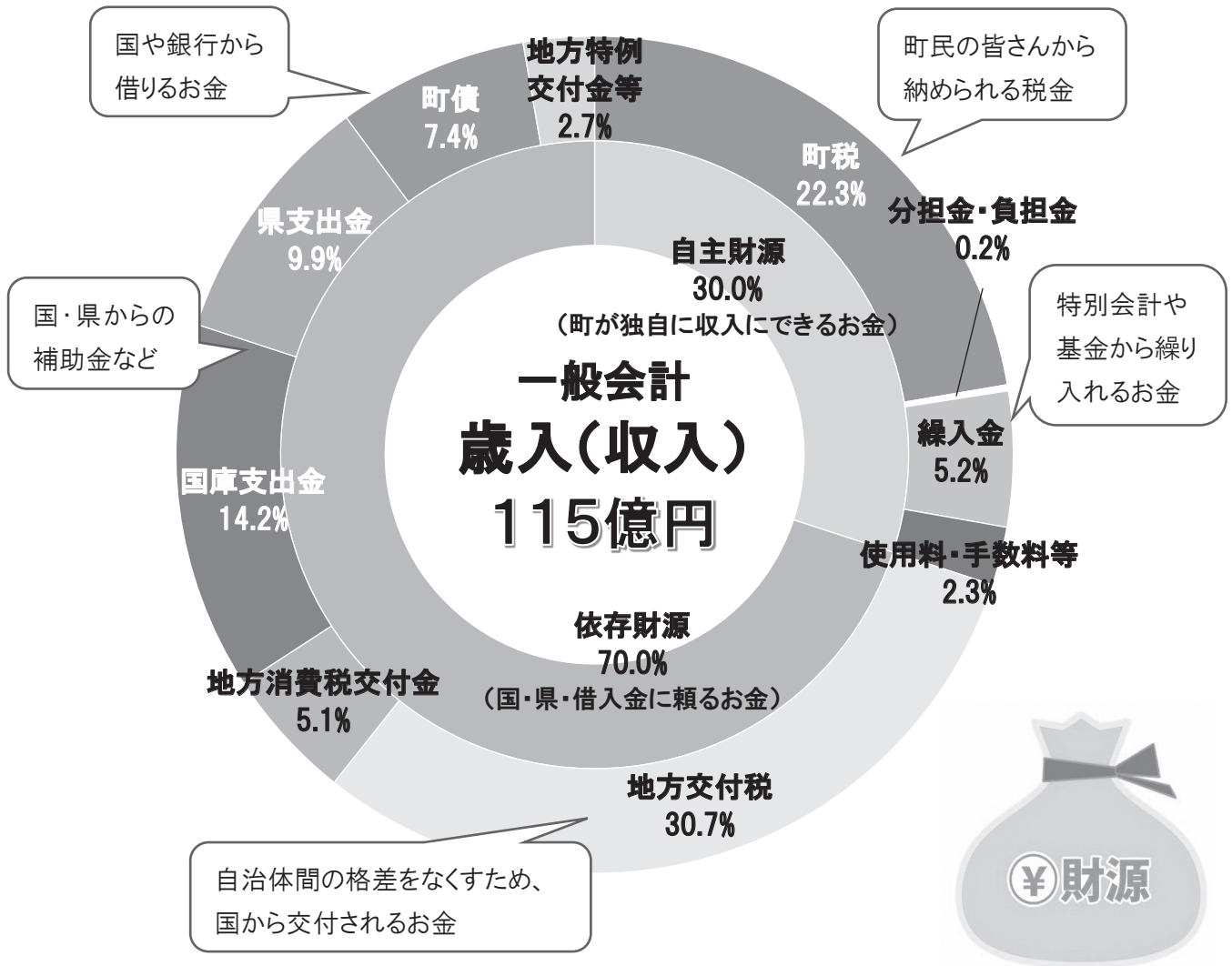
▲下田公園の桜

（写真提供：さわ お ひろゆき 副委員長）



令和6年度 予算

前年度比 10億300万円、9.6%増 当初予算として過去最高額を計上



▼特別会計・公営企業会計予算

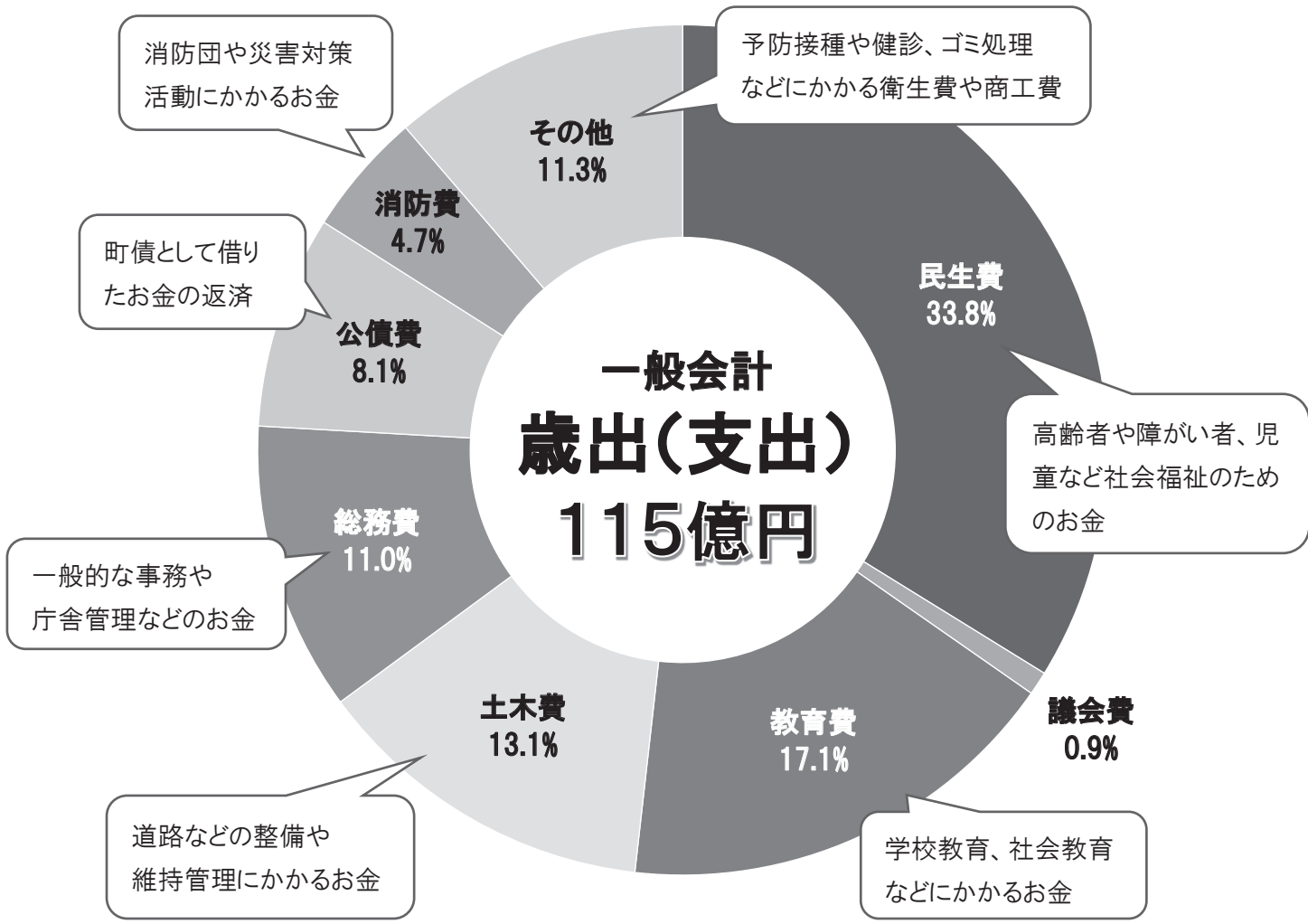
	会計の名称	令和6年度	令和5年度	差引増減	うち、一般会計からの繰入金
特別会計	国民健康保険	23億72万円	22億4,019万円	6,052万円	2億2,753万円
	奨学資金貸付事業	1,914万円	2,187万円	▲272万円	161万円
	公共下水道事業	—	10億4,586万円	—	—
	農業集落排水事業	—	1億3,552万円	—	—
	介護保険	24億3,524万円	23億7,050万円	6,474万円	4億3,709万円
	後期高齢者医療	2億9,431万円	2億5,695万円	3,736万円	1億466万円
業会計 公営企	病院事業(収益的収支)	10億7,812万円	11億234万円	▲2,422万円	2億115万円
	下水道事業(収益的収支)	8億8,015万円	—	—	3億3,415万円

※千の位を四捨五入しています。

公共下水道事業と農業集落排水事業は令和6年4月から地方公営企業法を適用し、下水道事業として公営企業会計に移行しました。

令和6年第1回定例会は、3月7日から15日までの9日間の会期で開かれました。固定資産評価審査委員会委員任命同意3件の他、25議案、委員会発委1件が原案のとおり同意、可決されました。

また、令和6年度一般会計や特別会計などの予算議案7件は、予算特別委員会を設置し、審査の結果、原案のとおり可決されました。



※四捨五入の関係上、数値が一致しない場合があります。

民生費
 38億8,465万円
 前年度比 2.4%増 ↑
 ・保育提供施設の運営等

教育費
 19億6,080万円
 前年度比 79.6%増 ↑
 ・教職員校務用PC更新等

土木費
 15億272万円
 前年度比 2.9%増 ↑
 ・神明橋橋梁補修工事等

総務費
 12億6,752万円
 前年度比 6.4%減 ↓
 ・役場庁舎管理費等

公債費
 9億3,523万円
 前年度比 8.8%減 ↓
 ・町債償還金等



区分	議案番号	▼3月定例会 議案審議一覧 3月13日(水)から15日(金)まで 全案可決(同意)	議決結果
人事	1	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
	2	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
	3	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
条例案	4	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
	5	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
	6	執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	7	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	8	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
	9	介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
	10	下水道事業受益者分担金に関する条例の一部を改正する条例について	可決
その他の議案	11	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
	12	町道の路線廃止について	可決
	13	町道の路線認定について	可決
補正予算	14	令和5年度一般会計補正予算(第7号)について	可決
	15	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	可決
	16	令和5年度奨学資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
	17	令和5年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
	18	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第4号)について	可決
	19	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	可決
当初予算	20	令和5年度病院事業会計補正予算(第4号)について	可決
	21	令和6年度一般会計予算について	可決
	22	令和6年度国民健康保険特別会計予算について	可決
	23	令和6年度奨学資金貸付事業特別会計予算について	可決
	24	令和6年度介護保険特別会計予算について	可決
	25	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決
	26	令和6年度病院事業会計予算について	可決
	27	令和6年度下水道事業会計予算について	可決
28	防災行政無線親局等更新工事請負契約の締結について	可決	
発委	1	町長の専決処分できる軽易な事項の指定についての一部を改正することについて	可決



議会用語「^{はつ}発委」… 議会の委員会(常任委員会・議会運営委員会等)が議会に議案を提出して審議を求めること。



令和6年度一般会計当初予算の主な事業内容

子ども医療費無料化を高校卒業相当年齢まで拡大

バス借上料	デマンド交通 運行業務委託料	子どものための 教育・保育給付費	移住支援事業費補助金
町民の健康及び福祉の増進等を図るため、各種団体からの申込みに応じてバスを無償提供	町デマンド型乗合バス運行業務（おいらバス）	保育を提供する施設へ運営費を給付（国1/2、県1/4、町1/4）	東京圏からの移住支援金（国1/2、県1/4、町1/4） 医療・福祉職限定の移住支援金（県3/4、町1/4）
予算額 2,500万円	予算額 3,283万円	予算額13億8,334万円	予算額 900万円
障害者自立支援 医療給付費	子ども医療助成費	除雪作業委託料	いちよう公園トイレ 建替工事費
人工透析、心臓ペースメーカー植え込み等（国1/2、県1/4、町1/4）	高校卒業相当年齢までの者が医療保険で給付を受けた場合の医療費一部負担（町単独事業）	除雪、融雪剤散布業務、町内会歩道除雪、除雪車両運転業務委託料	老朽化に伴ういちよう公園芝生広場トイレの建替工事
予算額 3,000万円	予算額 6,134万円	予算額 1億3,992万円	予算額 3,200万円
機械器具費 (消防ポンプ車)	木ノ下中学校 講堂改築事業	体育施設照明器具 改修工事費	給食材料費
百石第4分団水槽付消防ポンプ自動車購入	木ノ下中学校講堂の改築工事〔令和6～7年度継続事業〕	いちよう体育館、町民交流センターの照明器具LED化工事	小中学校の給食材料費
予算額 7,337万円	予算額 3億8,118万円	予算額 1億6,871万円	予算額 1億3,194万円

※千の位を四捨五入しています。

令和6年度予算特別委員会

—主な質疑—

おがさわら しんや
小笠原 伸也 委員

問 町民プールの使用料収入17万円に対して維持管理費を含む経費が1,300万円超である。事業評価と合わせての見通しは。

答 木ノ下小学校以外の4小学校にはプールがない。屋根付き屋内プールということもあり、学校の水泳教室等に活用している。木ノ下小以外の学校プールを統合したと考えれば、年間で数か月しか利用しなくても、経費削減効果はあると見ている。

問 学校給食の食材について、町内の食材使用量の割合は。

答 食材の重量ベースで、町内産は米や根菜類、農家団体の味噌など、10～12%程度。県内産は50～60%になる。



▲給食には地元産の食材を使用

ならやま ただし
楢山 忠 委員

問 町民のがん検診受診率は。また、近隣の市町村と比較した場合はどうか。

答 令和3年度の実績で40歳から74歳の受診率と青森県の平均値との比較 (%)

種別	おいらせ町	県平均
胃がん	10.3	8.3
大腸がん	13.7	14.2
肺がん	12.2	10.8

大腸がん以外はおいらせ町民の受診率が県平均より上回っている。

問 病院建設予定地の発掘調査を行うとのことだが、用地の取得はできているのか。

答 発掘作業予定地はイオン関連会社所有の土地である。従前から関係者と新庁舎建設の前提で協議しており、発掘作業についても了承を得ている。用地の取得は令和6年度、7年度で行う予定。



▲発掘作業予定地

まつばやし よしみつ
松林 義光 委員

問 令和6年度8月から11月にかけて建設予定地の発掘調査を行うとのことだが、万が一作業に遅れが出た場合、今後のスケジュールへの影響は。

答 令和6年度中は建設予定地での工事等はない。令和6～7年度で設計業務、その後、造成工事、令和9年度から建築工事が始まるので、発掘作業に遅れが出て今後のスケジュールに大きな支障はないと考える。

問 いちよう公園体育館改修工事に約2億円が予算計上されているが、屋内ドーム構想との関係は。

答 いちよう公園体育館は長寿命化計画の中で、予算計上している外壁等改修工事や照明器具のLED化等を実施し現状の体育館として使用していく。ドームの構想は現時点ではない。



▲外壁塗装補修等を行ういちよう体育館

令和6年度一般会計予算、各特別会計、病院事業会計及び下水道事業会計予算案は、議長を含む全議員をもって構成した予算特別委員会（平野敏彦委員長）で審査しました。

町政全般にわたり、多くの質疑がありました。紙面ではその一部をご紹介します。

さわ お ひろゆき
沢尾 宏之 委員

問 観光案内看板撤去予算が本町地区にある看板1か所分だが、三沢十和田下田IC付近に旧下田町の案内看板がある。老朽化で不安定に見えるが、その対応は。

答 北部地区の案内看板についても令和6年度予算で対応できるよう準備を進めている。



▲撤去される案内看板

問 木ノ下中学校の講堂改修工事は計画どおり進んでいるのか。また、完成予想図を地域住民やこれから利用する児童生徒に提示してみてもどうか。

答 増築工事については令和5年中に完了している。建築車両が通るための整地、テニスコートの移設、相撲場の解体等も完了している。令和6年度から本体工事に入るが国の交付金との関係もあり夏以降になると思われる。完成予想図は学校にも渡しており生徒や保護者も閲覧できるようにお願いしている。

さ さ き まさる
佐々木 勝 委員

問 新規就農者育成総合対策事業費補助金は国の補助か、町の一般財源か。また、遊休農地が増えているが、町内の遊休農地（※1）の現状は。（※1）かつて農地だったが現在は農地として利用されおらず、今後も利用される可能性が低い土地

答 補助金は事業費に対して国が1/2、県が1/4、残りは自己負担で町からの持ち出しはない。令和6年度は1名を予定している。遊休農地が増えると病害虫の被害が増え農作物を育てている畑に悪影響を及ぼす恐れがある。おいらせ町内の遊休農地は近隣の市町村と比較して多い。

再質問 若い人たちが農業に魅力を感じ、農業を始めるための環境整備や補助、担い手を増やすための工夫は。

答 新規就農者に補助金等を交付して後継者を増やしたいという気持ちはある。農業を始めたいという方がいたら、まずは役場に相談に来ていただければ利用できる制度等を調べ紹介することは可能である。



よしむら としづみ
吉村 敏文 委員

問 町道沿線支障木伐採は町内全域なのか、特定の地域か。また、私道整備補助金の内容の確認。

答 支障木伐採の場所は主に向山駅南側、青い森鉄道沿線の法面部分で町有地の箇所。私道整備補助は昨年に引き続き、北部地区の土地の境界と現況が合わない境界不整合地に対し行う。

再質問 木ノ下中学校への通学路にも冬になると陰になって危険な箇所があるが確認しているか。また私道も可能な範囲で管理しているか。

答 危険箇所については図面や現地でも確認している。民地は原則として所有者が管理するものなので、所有者に相談していく。北部地区に私道が多く、砂利道や冬の除雪についての苦情が多く寄せられている。私道整備要綱見直し後は整備が進んでいる。

固定資産評価審査委員会委員

人事案件



たまかわ よしかず
玉川 吉一 氏
(木ノ下)



たねいち いわお
種市 岩男 氏
(新敷)



こむかい みちひこ
小向 道彦 氏
(藤ヶ森)

任期満了に伴い、玉川氏、種市氏は引き続き、小向氏を新たに選任することに同意しました。任期は令和6年5月13日から3年間となります。







「固定資産評価
審査委員会」とは

固定資産課税台帳に登録された価格(評価額)に対する納税者からの不服を審査・決定するため、地方税法に基づき設置された中立的な機関です。固定資産の価格(評価額)が適正か否かについて審査を行います。

可決
しました

令和5年度 3月の主な一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算額に5億485万円を増額し、予算の総額を123億4,355万円としました。

畑地化促進事業 補助金	立木等補償費	小学校ネットワーク環境 更新事業費	中学校ネットワーク環境 更新事業費
畑地化促進支援事業2次配分額決定による増額(国10/10)	住吉町線整備事業に係る支出見込額精査による増額〔令和6年度繰越事業〕	小学校5校のネットワーク通信状況改善及び通信機器更新工事〔令和6年度繰越事業〕	中学校3校のネットワーク通信状況改善及び通信機器更新工事〔令和6年度繰越事業〕
補正額 5,645万円 補正後 1億2,519万円	補正額 2,954万円 補正後 1億7,202万円	新設補正額 8,407万円	新設補正額 5,336万円
			

特別会計／公営企業会計 補正予算

特別会計	補正総額	補正後予算総額	歳出の主な内容
国民健康保険(第4号)	3,068万円	23億615万円	国民健康保険事業基金積立金等
奨学資金貸付事業(第2号)	△223万円	1,967万円	奨学資金貸付金等
農業集落排水事業(第3号)	—	1億4,095万円	令和6年度へ繰越明許費設定
介護保険(第4号)	△7,518万円	24億4,572万円	介護サービス等給付費支出見込額精査等
後期高齢者医療(第3号)	137万円	2億7,978万円	後期高齢者医療広域連合納付金支出見込額精査等
病院事業会計(第4号)	△4,900万円	11億3,079万円	委託料等支出見込額精査

※千の位を四捨五入しています。

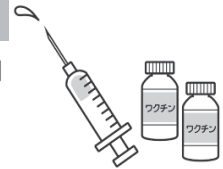
全員協議会とは、町政に関する重要な事件や町議会内部の事項について報告・協議するため必要に応じて開かれます。第1回では7件の案件について説明がありました。

案件	▼案件一覧
1	第4次おいらせ町男女共同参画プラン及び第4次おいらせ町DV(配偶者等からの暴力)対策基本計画について
2	令和6年度おいらせ町当初予算案の概要について
3	健康おいらせ21について
4	新型コロナウイルスワクチン接種の対応について
5	第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画及び介護保険料について
6	下水道事業受益者負担金等一括報奨金制度の廃止について
7	おいらせ町地域学校協働本部(地域学校協働活動推進)の設置について



今回は『案件4 新型コロナウイルスワクチン接種の対応』をピックアップして掲載します。

個人の重症化予防を目的に、予防接種法上の「B類疾病」「定期接種」で高齢者インフルエンザ予防接種と同じ扱いになります。



対象者は？

- ・65歳以上の方。(接種努力義務なし)
- ・60歳以上65歳未満の方であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するものとして厚生労働省令で定められる方。
- ・これ以外の方の接種は「任意接種」扱いになります。

接種期間は？

- ・国の説明では年に1回「秋冬」としていますが、具体的な開始時期の説明はありません。

接種料金は？

- ・国が予定する標準的な接種費用は「7,000円(ワクチン3,260円、手数料3,740円)」です。
- ・低所得者(生活保護受給、住民税非課税世帯)は無料とする予定です。
- ・「任意接種」の方は医療機関が設定した接種料金となります。(全額自己負担)

町民への周知は？

- ・高齢者インフルエンザと同様に、広報おいらせ10月号(2024年9月末配布予定)と、分庁舎・北公民館などへ配置するチラシ等で周知します。また、接種券や予診票の個別発送は行いません。

主 な 質 疑



【案件2】

令和6年度一般会計当初予算案の概要

問 基本方針にもある「持続可能」という言葉の意味、考え方は。(川口 弘治 議員)

答 SDGsのような大きい意味ではなく、将来においても行政サービスの提供を継続できるような財政基盤を築く、という意味。

【案件6】

下水道事業受益者負担金等一括報奨金制度の廃止

問 単純に、個々が納める負担金が減額されると捉えていいものか。(檜山 忠 議員)

答 早期の負担金回収により下水道整備の進捗を図ることを目的としていたが、公共下水道区域の整備は平成29年度に完了し、過去3年間においても対象者が1件だったため廃止するもの。

一 般 質 問



一般質問とは、年4回の定例会で行われ、議員が町の執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針について、所信や疑問をただすことです。現行の政策を見直し、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

3月定例会では5人の議員が登壇し、質問を行いました。ここでは、質問と答弁を要約した内容（11頁から15頁まで）を登壇順（質問順）にお知らせします。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は議会事務局（本庁舎3階）または町ホームページで閲覧できます。また、本会議場で傍聴することもできます。

ページ	議員（質問順）	主な質問項目
11	こむかい 小向 幸祐 議員	<ul style="list-style-type: none"> 地震津波発生時における防災対策を問う 農業、農地問題について問う 企業誘致について問う 広報、情報発信について問う
12	おがさわら 小笠原 伸也 議員	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみの減量」に対する取り組みは 冬季の町民プール活用について問う おいらせ病院の診療科目の増設は
13	ひらの 平野 敏彦 議員	<ul style="list-style-type: none"> 町の防災、災害対策は 町職員の現状について問う 寄贈されたグローブの活用は
14	ひのぐち 白野口 和子 議員	<ul style="list-style-type: none"> 北部地区にスポーツジムを整備する考えは 危険環境を改善するための行政指導を
15	さわかみ 澤上 訓 議員	<ul style="list-style-type: none"> 町の防災計画について問う

津波・大津波警報発令時の対策は

こむかい こうすけ
小向 幸祐 議員



地震津波発生時における防災対策を問う

問 大津波発生時の浸水対象地区ごとの人口は。

答 町では試算していないが、県の試算では、百石小学校区約4,200人、甲洋小学校区約1,900人、木内々小学校区約1,500人、合計約7,600人。

問 浸水地域の高齢者や障がい者、ひとり親世帯等、津波発生時に避難支援が必要な人数は。

答 町の把握は令和4年12月時点において約2,100人。実際に支援が必要かは、今後、個別避難計画を作成する中で把握する。

問 災害発生時に消防団や町内会等の、避難フォローの対応が可能な人数は。

答 災害時は「自分の命は自分で守る」自助が重要である。そして隣近所へ声掛けをしながら一緒に避難する共助も重要であり、その中には消防団や自主防災組織等も想定されるが、自分の命を守りながらできる範囲で支援することを考えている。

問 おいらせ病院における津波警報発令時の入院患者の避難対策は。

答 入院、外来患者等の歩行可能な方は最も近い避難場所へ誘導を行い、歩行困難な方は上層階への避難を基本としている。津波警報では時間的余裕がないことから、現実的にほぼすべての入院患者が上層階への避難になる。

農業、農地問題について問う

問 高齢化や後継者等の人材不足、人件費や物価高騰等、農業環境は年々悪化しているが町の対策は。

答 基本的な対策は遊休農地の発生防止と解消、新規参入の促進、スマート農業の推進による労働力不足の解消、補助金を活用した農業者支援に努めていること。

重点項目については関係者と話し合い、今後10年の具体的な農地集積と集約を描いていく。

問 遊休農地の現状と対応、来年度の対策は。

答 町農業委員会等で調査し、遊休農地と判定された所有者に対して意向を確認、自力で解消できない場合は中間管理機構を通じてマッチング等で遊休農地解消に努めている。再生利用が困難な農地については、今後、非農地判断を農業委員会で行い農地から除外する手続きを進めている。

企業誘致について問う

問 人口減少対策としても企業誘致は有効かと思うが、来年度の対策は。

答 誘致は企業の動向等の情報収集が必要である。県の東京事務所や関係先と情報共有し、青森県企業誘致推進連絡協議会とも協調した活動を進めていく。

個人を含めた事業者の創業については、商工会とも連携しながら開業にむけてのサポートや資金調達の調整を図り信用保証料の一定額を補助するための予算計上をしている。

問 町工場誘致奨励条例を活用した企業数、交付実績と近年の動向は。

答 条例を活用した企業、交付実績はない。近年は同条例を含め各種助成への問い合わせもあり、対応中の案件もある。

広報、情報発信について問う

問 町の魅力や情報を発信していく情報発信ツールの更新頻度が遅いように感じる。ホームページやSNS等の運用方法はどうか。

答 町が公式情報発信ツールとして運用しているものはホームページのほか、FacebookとXがある。それぞれ管理運用要綱等を定め、各課が掲載申請し総務課が承認を行っている。更新は不定期だが、ホームページは1日3回程度更新処理を行っている。



▲ SNSを活用し情報を発信



おがさわら しんや
小笠原 伸也 議員

「ごみの減量」対策は

「ごみの減量」に対する取り組みは

問 ごみ減量による町民のメリットは。

答 取り組みとして3R(リデュース・リユース・リサイクル)を行うことにより家計の出費を抑える効果や環境問題の解決につながると考えている。

問 ごみ処理負担金が減ることにより浮いた経費の用途は。

答 負担金が減れば、町民税等の用途がごみ処理以外の他の事業に向けられ、住民サービスの向上になる。

問 家庭ごみの分別について、さらに家庭に工夫や負担を強いるものか。

答 生ごみの水切り等、ひと手間かけていただく取り組みへの協力をお願いしたい。また、町内会等で資源集団回収事業を行っている地区では、集団回収用に設置してある資源ごみ箱に出すことにより、処理費用の削減になる。

問 生ごみを減らせば減量になるのか。

答 重さを減らすことが重要なので、生ごみの水切りをしっかりと行うことが減量に取り組んでいることになる。

問 会社や商店への協力依頼は。

答 事業向けのごみ減量啓発活動を行うほか、古紙のリサイクル促進のため無料回収を行う団体である「オフィス町内会」への利用促進の呼びかけ等を考えている。

問 ごみ減量の1人当たりの目標数値は。

答 令和6年度から令和8年度までに10%のごみ減量化、家庭ごみ1人1日当たりの排出量の目標値を571グラムとしている。

問 減量化の状況を把握できる表やグラフの提示は可能か。

答 達成状況がわかるように「見える化」が必要と考える。広報紙やホームページに、表やグラフ化したデータを公表したい。

問 町民課のほか、教育委員会等の協力はあるのか。

答 町内の小中学校の児童生徒から、ごみ減量に関する標語の募集等について協力を依頼している。また、全庁あげて所管する事業に取り組む予定。

問 町廃棄物減量等推進審議会とは。

答 一般廃棄物の減量等に関する施策の基本的事項について調査審議等をする町の附属機関である。

問 「ごみ出しマナーの低下」への対策は。

答 新たな強化策として、ルールを守らない方を特定するために「監視カメラ」の設置や、ごみ収集日や分類が検索できる「ごみ収集アプリ」を導入していく。

問 町の環境づくりに貢献している事例は。

答 企業では株式会社三村興業社が百石海岸の清掃、株式会社柏崎組が下田公園の水辺環境の清掃を行っている。

また、サーフィン愛好家が4月から12月までの期間、月に1回海浜清掃活動を行っている。

団体では日本赤十字奉仕団おいらせ支部、町観光物産協会、町商工会、百石工業団地企業連絡協議会などが清掃活動を行っている。

町内の小中学校では、小学校1校と中学校2校で校内行事として学校周辺の通学路の清掃活動を行っている。

冬季の町民プール活用について問う

問 屋内のスポーツ施設であることから、冬季利用できるようにしては。

答 プール水槽は水槽に水を張り水圧をかけることで形状を保つ必要があることから、冬期間、水を抜いて貸し出しすることはできない。学校プールとしての活用が主な目的である。

おいらせ病院の診療科目の増設は

問 新たに医師を確保する考えはないか。

答 地域の医療環境や医療需要を把握しながら専門医の招致に取り組んでいる。当院の果たす役割を担い、地域医療に空白が生じないような医療体制と診療科の設置を考慮していく。

問 個人病院を誘致する考えはないか。

答 現時点においておいらせ病院周辺への医療機関を誘致することは予定していない。

防災・災害時の対策について問う

ひらの としひこ
平野 敏彦 議員



町の防災、災害対策は

問 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用開始から1年余りが経過した。町のこれまでの取り組みは。

答 令和4年11月にホームページへ掲載、5年1月の広報配布の際にカラーチラシ配布、6年2月の広報に掲載している。また、令和5年10月の町総合防災訓練前に参加者へ説明した。

問 注意情報発令時、町と自主防災組織との連携は。

答 町の対応として、防災行政無線やほっとスルメールで情報を流し、避難所を開設できるように体制を整える。自主防災組織については、避難所を開設した場合の運営の協力など連携していくことになる。

問 冬の避難所運営について町の対策は。

答 寒さ対策として、石油ストーブ、毛布、使い捨てカイロ、段ボールベッド、段ボールパーテーション、エアーマットを備蓄している。また、停電時用に明神山コミュニティ防災センター、深沢地区コミュニティセンター、一川目地区生活会館、二川目地区生活会館には非常用発電装置を備えている。

問 能登半島地震では発生直後から家族等の安否を確かめる問い合わせが石川県内自治体に殺到した。青森県において、災害時の死者・安否不明者の氏名公表基準について伺う。

答 安否不明者、行方不明者は要救助者の迅速な把握による救助活動の効率化・円滑化のために必要と認めるときは、氏名等を公表することになっている。また、死者については遺族等の同意があれば氏名等を公表することになっている。

問 当町においての死者・安否不明者の公表についての対応は。

答 死者、安否不明者の公表基準は定めていないが、県に準じて公表することで考えている。



▲明神山コミュニティ防災センターと防災タワー

町職員の現状について問う

問 令和6年1月に募集した職員採用試験について、職種別の応募者数、受験者数及び合格者数は。

答 応募者数は行政職のみ16名。受験者数は15名、合格者数は5名。

問 当町職員の初任給については、国・県に準じているが、1級から6級までの昇格基準は。

答 行政職の1級は主事、2級は主査、3級は主任主査、4級は課長補佐と主幹、5級は課長と副参事、6級は参事に区分されている。昇格基準は町の規則で昇格に関する基準が示されており、共通なのは人事評価結果及び勤務成績に基づき、昇格が可能と認められることである。

問 令和4年4月1日時点の県内市町村のラスパイレ指数(※1)を見ると、当町は95.4となっており、上北郡内最下位となっている。町の改善結果は。

(※1)国家公務員と地方公務員の賃金の比較をする際に使用する統計上の指数

答 5年に一度の基幹統計の関り、国の集計作業の確定が3月下旬になる見込みのためラスパイレ指数も確定しておらず、現在の当町の指数も上北郡内における順位も不明である。

寄贈されたグローブの活用は

問 大谷翔平選手が国内の全小学校に3個ずつ寄贈したグローブについて、当町小学校5校のお披露目方法と活用方法は。

答 各校ともに1月15日の始業式において披露したあと、各学級に1日毎に置くなどの対応をしている。

問 野球を楽しんでもらう「野球しようぜ」は野球をしている少年少女をはじめ、小学校のスポーツに関心興味を抱かせる絶好の機会と思うが、町の方針と取り組みは。

答 グローブは学校に寄贈されたものであり、活用方法については各学校で検討中。野球を楽しんでもらう取り組みは、現時点では計画はない。



▲スポーツ少年団野球大会



北部地区にスポーツジムの整備を

ひのぐち かずこ
日野口 和子 議員

北部地区にスポーツジムの整備する考えは

問 あらゆる地区でもそうだろうと思うが、北部地区でも高齢化が進み、健康を維持するためにもスポーツジム等の整備を要求する方が多数いる。その真剣な思い、顔、目を見ていればぜひとも整備すべきと思う。行政サイドの積極性が求められると思うが町の考えは。

答 結論から申し上げますと、町単独でスポーツジムの整備する考えはない。

町では、町民がスポーツに親しむことや健康づくりにつなげるため、今年度、ポッチャ・モルック・メディシンボールなど複数のニュースポーツ用具を購入しており、来年度以降、イベントでの活用や公共施設での町民への貸し出しを検討している。

スポーツジムの整備ではなく、町民が健康を維持するため、スポーツ用具の貸し出しを含め、別なソフト面での取り組みを進めていく。



▲交流センタートレーニングルーム



▲モルックを楽しむ子どもたち

危険環境を改善するための行政指導を

問 今年は雪も少なく安心しているが、気比神社内の大樹が枝を張り県道の真ん中を超え、電線にも絡まっている。昨年のように樹上雪の重みで枝が路上に散乱し、交通事故がおこるのではと不安が続いている。

また西側は、町長が常願うおいらせ町の未来を担う木ノ下中学生の通学路にもなっており、人災等が起こってからでは遅いので、一日も早く解決に向けての対策を伺う。

答 気比神社から道路に張り出した枝が危険との質問については、令和4年第3回定例会及び第4回定例会において、日野口議員から同様の質問を受けている。

第3回定例会では担当課長から「議員の意見を県道管理者へ伝えるとともに町からも気比神社へ話をする」と答弁している。

その後、令和4年9月8日に県道管理者へ伝え、同年9月16日に町から気比神社管理者へ枝払いの相談はしたが、県道側は交通量が多く対応に苦慮しているが、町道側は枝払いを行っているとのことだった。

第4回定例会では、担当課長から先ほどの「その後の状況」について答弁しているが、再度、県道管理者へ相談したところ、交通に支障がある範囲で緊急性のあるものは枝払いを行うとのことだった。

今回の質問を受け、改めて気比神社から張り出した枝の状況を確認したが、県道側は県道管理者において交通に支障がある範囲の枝払いが行われ、町道側は道路境界から張り出した部分の枝払いが行われていることから、道路管理の面では指導及び対策は講じられていると認識している。



▲春を告げるフキノトウ

冬季避難所での低体温症の対策は



さわかみ さとし
澤上 訓 議員

「3月定例会当初予算」

「定例会議案」

「予算特別委員会質疑」

「定例会人事案件」

「第1回議員全員協議会」

「一般質問 5名」

町の防災計画について問う

問 能登半島地震の被災状況を見て、避難することの大切さを痛感した。しかし、車で避難できる場合と徒歩で避難する場合の違いや、災害発生時が早朝、あるいは日中、夕方、深夜等、それぞれの状況によって避難先等に変化が生じる。

例えば桃川さんや百石高校さんが開いていない場合など、町民の皆さんが不安を感じると思う。そのためにも避難ルートを一斉にチェックし、何通りかの避難方法を整理して、町民に周知する必要があるのでは。

答 地震・津波の場合の避難については、原則徒歩での避難としている。それは、避難者が一斉に自動車等を使用した場合、渋滞の発生を誘発し津波に飲み込まれる恐れが高いためである。しかし、徒歩での避難が困難な方や、避難の初動が遅れた場合は、自動車の使用もよいことにしている。また、避難所については基本的に浸水が想定されていない場所を目指し、どうしても間に合わない場合には、分庁舎、百石高校、百石道路避難階段等の緊急避難施設に避難することになっている。

今後も防災安全マップや防災・減災のための説明会や研修会を引き続き実施し、町民の防災意識の高揚を図っていくことを考えている。

問 能登半島地震のような電柱や家屋、橋の倒壊があれば車での避難は難しい。しかし、東日本大震災時のような場合には、津波対策として車での避難が可能である。例えば本町地区の住民が多賀台方面に避難した場合、八戸の避難所にスムーズに入れるのか、その辺について、八戸市と連携しているのか伺いたい。

答 八戸市とは、相互にそれぞれの避難所に避難する可能性があることから了解をいただいている。ただ、避難所へ入れるかどうかは、避難者数などの状況により変化するため、わからないというのが現状。

問 2月のデーリー東北新聞に冬の避難所対策について記事が掲載されていた。1995年の阪神淡路大震災や2011年の東日本大震災など近年の災害でも、寒さなどで体調を崩して亡くなる「災害関連死」が相次ぎ、冬の避難所対策が問われているといった内容である。

今回の能登半島地震では凍死や低体温症で命を落とした人が30人以上に上ったと聞いている。もし、

当町の災害が冬場であった場合、避難所の暖房機器や寝具(毛布等)など、どの程度整備されているのか伺いたい。

答 暖房器具は停電時でも使用できる石油ストーブが約30台、毛布等2,500枚、段ボールベッド360台、段ボールパーテーション2,160枚、エアーマット250枚、使い捨てカイロ7,500個を備蓄している。停電時用として、明神山コミュニティ防災センター、深沢地区コミュニティセンター、一川目地区生活会館、二川目地区生活会館には非常用発電装置を備えているため、電気ストーブ等も使用できるようになっている。毛布については、今後5年間で約8,000枚まで増やす予定としている。

問 また、冬の避難所運営訓練についての記事もあった。県南地方の市町村は、調査時点でも未実施が7割近くに及んでいるようだが、未実施の理由が「高齢者が多い」「体調を崩す人が出る」など参加者への配慮を挙げているようだ。町としての考えはどうか伺いたい。

答 この時の調査では未実施であるが、今後実施予定と回答している。現在、冬期間の避難訓練だけでなく、避難所運営訓練や夜間の避難訓練についても、実施に向けて検討しているところである。

問 最後に、命の問題について考えてみたい。特に低体温症は ①低い気温環境 ②高齢者 ③濡れた衣類や冷たい床など体温を奪うものとの接触 ④疲れなどによる熱を生み出す能力の低下 という4つの因子が大きく影響して発症すると新聞記事にもあった。このことは町民も認識しておく必要があると思うので、その対策を町としてどのように考えていくのか伺いたい。

答 まず、個人の対応としては防災安全マップにも記載しているが、非常持ち出し品の中に着替え用の衣類と体温を逃さないための保温シートを入れておくことが大切であると考えている。町の対応としては、避難所の準備として、暖房機器、毛布、段ボールベッド、エアーマット、段ボールパーテーションを活用し寒さ対策をすること、そして温かい食事も提供できれば、低体温症の対策にもつながるものと考えている。



令和5年度おいらせ町議会議長の交際費を公表します。

種別	件名	金額(円)
慶弔	町議会議員の子の葬儀(香典・花輪)	15,000
慶弔	元町議会議員の葬儀(香典・生花)	25,000
広告	青森県知事就任祝賀広告費	22,000
慶弔	元町議会議員の葬儀(香典・生花)	25,000
協賛	おいらせ下田まつり祭ばやし競演会	10,000
会費	消防団長藍綬褒章受章祝賀会	6,000
会費	青森県選出国會議員との懇親会費	8,500
接待	愛知県瀬戸市議会行政視察来町時の飲料代	1,296
会費	上北郡町村議会議長会定例会・懇親会(第3回)	3,000
贈答	産業民生常任委員会調査活動のお礼(兵庫県洲本市)	3,000
贈答	総務文教常任委員会調査活動のお礼 (山梨県富士川町、神奈川県秦野市)	6,001
会費	町スポーツ協会新年会費	3,000
祝儀	おいらせ町消防団出初式(19分団)	51,700
贈答	議会運営委員会調査活動のお礼(静岡県長泉町)	3,000
接待	宮城県大河原町議会行政視察来町時の飲料代	3,244
	15件	185,741

公正で透明な議会運営を進めるため、議長交際費を公表します。町ホームページには平成25年度分から掲載しています。



3月定例会の傍聴者は17名でした。おいらせ町議会では皆様の傍聴をお待ちしております。



議会運営委員会

静岡県長泉町議会

2月5日から6日にかけて調査活動を行いました。

長泉町議会では令和元年度からタブレット端末を取り入れており、議案等の資料はタブレットで管理、閲覧しています。多くの資料を簡単に持ち運べ、資料の検索が容易になる等、議会運営の効率を図っていました。また、印刷用紙代等、年間約115万円の経費削減効果もあり、当町議会においても、今後のタブレット端末活用の参考になりました。



▲具体的な活用について説明を受ける

第2回定例会のお知らせ

令和6年6月6日(木)午前10時から
日程の詳細は6月上旬に町ホームページをご確認ください。

- 問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)
- 電話 0178(56)2112

「ぎかいだより懸橋」に

表紙写真をお寄せください

町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

送付先	おいらせ町議会事務局 議会広報係
電話	0178-56-2111(代表)
メール	gikai@town.oirase.aomori.jp

編集後記

傍聴にいらっしゃい！議場はおもしろい！

毎回、議会一般質問の傍聴に町民約10名と新聞記者2名の方が役場本庁舎3階にある議場に訪れて熱心に傍聴されています。議会の日程表と一般質問通告書が配布されます。

議会と行政サイドの論争は、まさに真剣勝負です。議員の質問にも力が入り、舌鋒鋭く切り込む姿があります。議会だよりには表れていないことが残念です。

また、町の最新情報を手に入れることもできるでしょう。ぜひ傍聴にお越しください。



おがさわら しんや
広報委員 小笠原 伸也